

日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,111	3,591	414,615	549,828
患者登録者数	233	232	2,947	36,332
移植例数	120	116	-	14,490

■ 7 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,635 人
20 代	70,377 人
30 代	152,411 人
40 代	151,835 人
50 代	37,357 人

■ 7 月の 20 歳未満の登録者 249 人

注）平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 7 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,554 人、献血併行型集団登録会／1,959 人、集団登録会／14 人、その他／64 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 コーディネーター養成研修会開始について

北海道、東北、中部、九州の各地区でコーディネーター養成研修会の受講者を募集した結果、全国から 180 人以上の方にご応募いただきました。書類・電話による選考で最終的に 31 人の受講者を決定しました。募集に際してご協力いただいた方々にお礼を申し上げます。

8 月 24 日（金）、25 日（土）に東京で開講式および集合研修を開催し、12 月下旬までそれぞれの地区で研修を行います。研修生の見学・実地研修等の際には、調整医師・採取施設の先生方やコーディネーターの皆さまにご指導いただくこととなりますがよろしくお願ひします。

2 コーディネート支援システムサーバのデータセンター移設完了について

PBSCT 機能に対応したシステム開発を行い、6 月下旬に稼働させたコーディネート支援システムについて、災害対策の一環として 7 月 14 日にシステムサーバなどの機器を外部のデータセンターへ移設しました。

データセンターは、耐震性に優れた施設で、高度な空調・消火・自家発電等の設備を備え、また、セキュリティ面において生体認証による入退室管理、カメラによる 24 時間監視などを備えています。地震等の災害に対して当財団が入居しているビルからより安全性の高い環境へ移設することにより、システムの損壊という最悪の事態を回避することを目的とするものです。

3 骨髄データセンターのドナー登録状況の集計方法の変更について

平成 24 年 7 月より、骨髄データセンターのドナー登録状況の集計方法が変更となり、それに伴いマンスリーレポートの表示も変更しました。20 歳未満のドナー登録者数、51 歳以上のドナー登録者数はこれまで当月と累計を表示していましたが、今後は 10 代～50 代までの当月の登録者数を表示します。また資料 1 のドナーの状況の 2 次検査実施ドナー現在数の表示は廃止し、HLA 適合報告ドナー数は、これまでの累計数から複数回適合したドナー数を引いた人数を表示することとしました。

なお、各都道府県別での各年代ドナー数や当月登録者の 10 代のドナー数などの集計は中央骨髄データセンターのホームページ、統計資料でご覧いただけますので、ご参照ください。

<http://trk.bmdc.jrc.or.jp/report/pref.pdf>



4 埼玉県で7月のドナー登録者数が829人を記録

埼玉県では、昨年度に引き続き、6月18日から緊急雇用対策(骨髄バンク推進事業)による献血ルームの登録推進活動を実施しており、県内に8カ所ある献血ルームにドナー登録希望者への説明員を設置しています。実施前の実績では4月が126人、5月が134人でしたが、実施後の6月は393人、7月は829人となり、説明員設置の効果が確実に表れています。

5 8月8日・9日「子ども霞が関見学デー」に子どもたちが大集合!

8月8日(水)、9日(木)の2日間、子どもたちに政府の仕事を紹介するためのイベント「子ども霞が関見学デー」が開催され、骨髄バンクのブースに2日間でのべ437人の子どもたちが訪れました。厚生労働省2階講堂に、骨髄バンクおよびさい帯血バンク、日本臓器移植ネットワークと合同でブースを設置し、来場した子どもたちは、骨髄バンクについてのクイズにチャレンジするなど、骨髄バンクへの理解を深めながら夏休みを満喫していました。

6 「骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会」について

9月15日(土)、13時30分より、仙台市太白区文化センターにおいて、「骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会」が開催されます。

第一部の式典では、両バンクの平成23年度事業について、第二部では、昨年3月11日の東日本大震災時の両バンクと移植施設の対応についての報告が行われます。このほか「明日の骨髄バンクとさい帯血バンク—ともに移植を必要とする人のために」をテーマにしたシンポジウム、NHK 仙台少年少女合唱隊によるコンサートを予定しています。

同日午前には、同じ会場において地区普及広報委員の研修会を実施します。

また、9月16日(日)、11時から仙台商工会議所会館において、認定NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会、NPO法人血液情報広場・つばさ、NPO法人日本臨床研究支援ユニット・がん電話情報センター(CTIS)の3団体共催によるフォーラム「血液がん より良い治療とより良い治癒」が開催予定。参加費 ¥1000(お問い合わせ NPO法人血液情報広場・つばさ TEL 03-3207-8503)。

7 「友情～秋桜のバラード～」など秋恒例の舞台が上演

秋恒例の3つの舞台が、今年も下記の日程で上演されます。

○骨髄移植推進財団設立20周年キャンペーン「友情～秋桜のバラード～」

■8月29日(水)・前進座劇場、9月4日(火)～12日(水)・草月ホール

■お問い合わせ 劇団絵生(えき) TEL 03-5715-6933(平日11:00～17:00)

○「IMAGINE 9.11」

■9月25日(火)～28日(金)・野方WIZ



- お問い合わせ IMAGINE 9.11 制作実行委員会 TEL 03-5327-3353
- 骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」
 - 9月13日(木)、14日(金)・新宿文化センター・大ホール
 - 9月28日(金)、29日(土)・NHK大阪ホール
 - お問い合わせ 明日への扉実行委員会・東京 TEL 03-5766-5181・大阪 TEL 06-6536-7161

○骨髄バンクのボランティアの皆さんを中心にした「骨髄バンク普及映画を作る会」(TEL 027-347-0085)が発足し、映画を見ることで骨髄バンクへの理解を深め、ドナー登録のきっかけとしていただくことを目的として2013年の全国公開に向け活動を行っています。詳細は同会ホームページをご参照ください。<http://kotsuzui-eiga.org/index.htm>

8 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	9月6日(木) 17:30~19:30 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」の改訂について

日本造血細胞移植学会と共同で発行している「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」の改訂を行いました。

各地区事務局における在庫がなくなりしだい、順次改訂後の「ドナー手帳」をドナーの方へ送付します(10月頃の見込み)。すでにドナーへ送付済みの分については、差し替えの必要はありません。

地区代表協力医師・採取責任医師・調整医師の先生方、コーディネーターの方々には、今号のマンスリーJMDPにドナー手帳(関係者用サンプル)と変更一覧を同封してお届けします。

10 骨髄液の凍結事例報告

骨髄液等の凍結については、諮問委員会や常任理事会(当時)で審議され、2011年3月に対処方針が決定し、マンスリーJMDP 同年3月号でアナウンスさせていただきました。その後、5例の申請がありましたのでご報告申し上げます。5例については審査の結果、3例の凍結が承認され、



凍結後に移植が実施されました。また2例については当初の予定どおり移植が実施されました。
(別紙「骨髄液の凍結申請事例報告」参照)

なお、凍結申請が提出される場合は、前提として希望する延期日程の再日程調整が不可能であることを申し添えます。今後は年2回を目安に公開いたします。

11 当財団を通して1回目と同じドナーから再移植することについて

同一ドナーからの再移植については、現段階では1回目と同一ドナーか否かによる移植成績への影響について明確なデータがないため、当財団ではドナー選択基準を設けておりません。しかし、1回目と異なるドナーを希望されるケースもあることから、ドナー検索時に前回提供ドナーであることが判明した場合は、前回と同一ドナーであること、前回採取量、細胞数(総量)を登録責任医師にお知らせしています。

今後はさらに、当該ドナーのコーディネートの進行の可否をお伺いしますので、不採用の場合はご連絡ください。

12 「患者コーディネートの進め方」の改訂について

この度、冊子「患者コーディネートの進め方」を改訂しました。患者コーディネートのルールについて改めてご確認いただきたく、ご一読願います。登録責任医師、移植担当医師、移植連絡責任医師、クリニカルコーディネーターの他、地区代表協力医師、採取責任医師、調整医師にお送りしております。

※ホームページにも掲載しています。

財団ホームページ > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 患者コーディネートの進め方

13 連絡事項

◆遺伝学的情報開示関連資料の訂正について(コーディネーターの方へ)

以下のシステム外帳票についてマンスリーJMDP7月号で改訂のお知らせをしましたが、誤植がありましたので訂正します。

①【骨髄・末梢血幹細胞提供者由来の遺伝学的情報を含む病的意義のある情報開示に関するご意思の確認について】(ご説明書)

4. 意思確認について(3行目)

誤「また、後日の回答を希望する方は、術前健診時までに郵送でお送りください。」

正「また、後日の回答を希望する方は、退院時までに郵送でお送りください。」

②骨髄・末梢血幹細胞提供者由来の遺伝学的情報を含む病的意義のある情報に関する対応(Q & A)

Q8. いつまでに返信すれば良いか?

誤「A. 十分お考えになったうえで、なるべく術前健診時までにご返送ください。」

正「A. 十分お考えになったうえで、なるべく退院時までにご返送ください。」